

	冊	子	目	録	
		落	穂	拾	い

『世界各国の全国書誌
—主要国を中心に— 改訂増補版』

初版は1983年に刊行されたが、それから10年余、今回の版では初版の7か国（英・米・独・仏・伊・西・露）に、オーストラリア・カナダ・中国・韓国の4か国を加えた。また、CD-ROM等機械可読形態の書誌情報も掲載、主要な逐次刊行物の目録も収録しており、巻末には他の世界各国の全国書誌のリストが付いている。

改訂版を出そうという話が出てから完成まで足かけ4年の歳月が経過した。改訂作業は専門資料部参考課参考図書係を中心に行ったが、最初は「初版があるし、分担執筆だから」と軽い気持ちでスタートしたそうである（4年の間に執筆者は人事異動で半分変わった）。ところが調べ始めてみると大変である事がすぐわかった。まず、初版に収録の7か国に関しては、すでに掲載の書誌の所蔵情報の追加と新たに収録する書誌の選定、追加4か国は収録書誌の選定の作業にとりかかった。この段階ではただ事実を調査して載せればよいと思われるかもしれないが、複雑に版を重ねていて全巻揃っていない（主要国の重要な全国書誌は全巻揃っています）、何回も改題していたり、原本とReprint版との区別等々、所蔵情報の確認だけでも大いに手間どった。次に苦労したのが解題である。不慣れな言語を相手に辞書や英文の参考図書と首っ引きで序文等を読んでいく作業。最後の

頃はさすがに慣れてきたが、最初は解題をどう書いたらいいのかもわからなかった。また、所蔵していない書誌についてはお手上げで、参考書をそのまま訳している。最後の校正の仕事も延々と続いた感があり、すべての作業が終了した時は心底ホッとした。この書誌は研修教材シリーズの1冊として刊行されたが、何よりも執筆者本人が一番勉強になったのは言うまでもない。

書誌刊行後、2つの質問があった。1. インターネットで各国の全国書誌が利用できるかどうか書いてあるのか。2. ここに載っているCD-ROMは所蔵しているのかの2点である。1の答えはノー。2については、「平成7年2月現在ではフランス以外は所蔵していないが、今後、収集していく予定である。」が答えである。この書誌のポイントは、当館でレファレンスや目録作業をする上で利用すべき全国書誌、つまり所蔵資料を中心に紹介していることにある。

次の改訂版では当館の各国の全国書誌の所蔵状況はどうなっているだろうか。主要国は冊子体ではなくなっているだろう。現在でも最も使われている全国書誌はUS-MARCである。冊子体に代わり、CD-ROMを収集していくだろうが、それよりもオンラインで主要なものは検索できるようになっていくかもしれない。それも、それほど先の話ではないような気がする。（参考課 上野和子）